

## 具体例4 「事例研究」

《ねらい》

身近な事例を通して、問題に対する一般的理解や共通理解を深めるだけでなく、情報収集能力、意志決定能力、問題解決能力など、参加者の資質向上をねらいとする。

テーマ『事例を基に全教職員の危機管理意識を高める（危機管理マニュアルの作成）』

《時 間》

1時間30分

《研修技法》

カードBS→マトリックス法

《方 法》

①身近に起こる学校事故等の事例を提示する。（例を参照）

5時間目の体育の授業中、A男は鉄棒から落ち、頭を強く打った。しばらくうずくまっていたので、担任のB教諭が心配になって「保健室へ行くか？」と声をかけたが、A男は「大丈夫です。」と答え、再び体育の授業に参加した。その後、A男は何事もなく学校生活を送り、下校した。担任のB教諭も特にA男に対して気に留めることもなかった。

その日の夕方、A男の母親から学校に電話が入った。「A男が学校から帰ってくると、急に吐き気をもよおし、何回も吐いた。様子がおかしいので心配になり、救急車を呼んで今病院にいる。学校で何かあったのか。」という怒りの声での電話があった。

問：このような事例に対して、あなただったらどのような対応をしますか。

「事故発生時初期対応」（A男が鉄棒から落ちたときの対応）

「二次問題発生時対応」（A男の母親から電話が学校に入ったときからの対応）

「予防的対応」（普段からこころがけておくこと）

の三つの場面で、あなたの対応をできるだけ付箋紙に書いてください。（付箋紙一枚につき一つの対応）

②事例を読んで、各自の対応を付箋紙に書く。

③4～6人のグループになり、一人ずつ下図のマトリックスのあてはまる箇所に付箋紙を貼っていく。貼る際には、コメントをつけて貼っていく。

	児童・生徒に対して	同僚・管理職に対して	保護者に対して	外部に対して
事故発生時初期対応	動かさずに様子を見る 保健室に連れて行く	養護教諭に連絡する。 管理職に連絡する。		
二次問題発生時対応		上司に電話の内容を報告する 上司と一緒に病院へ向かう		
予防的な対応				

- ④グループ内で話し合いながら，他にも手だてが必要でないかを考え，付箋紙を加えていく。
- ⑤貼り付けられた付箋紙をグルーピング化したり，関係づけたりして構造化していく。
- ⑥各グループで話し合ったことを発表する。
- ⑦発表で出てきたことを，研修担当者がまとめる。（危機管理マニュアルの完成）

### テーマ『危機意識を高めるロールプレイング』

#### 《時間》

1時間30分

#### 《研修技法》

ロールプレイング

#### 《方法》

- ①前述の事例と作成した危機管理マニュアルをもとにロールプレイングを実施する。
- ②ロールプレイングについて説明する。
  - ・ロールプレイングをする際は笑ったり，ふざけたりしないこと。真剣に取り組む。
  - ・ロールプレイング中は役になりきる。終わったら役から離れること。

③二つのグループ（各グループ4～6人）が一緒になり、役割を決める。

保護者役：父親，母親（同じグループから2名選ぶ）

教師役： 管理職1名，担任1名（保護者役のグループと違うグループから2名）

※ 他は観察者

④場や役の設定

〔場の設定〕

子どもの状態は一段落し，入院することもなかった。しかし，両親は学校の対応に不満を感じ，翌日，学校を訪れた。

〔保護者役〕

どのように苦情を申し立てるかについて作戦を立てる。

〔教師役〕

大きなトラブルにつながらないようにする。

⑤ロールプレイング（15分間）

⑥観察者はロールプレイングを見ながら，気づいたことを付箋紙に記入する。

⑦ロールプレイング終了後，保護者役，教師役は気づいたことを付箋紙に記入する。

⑧ワークシートに付箋紙を貼りながら，それぞれが感想や気づいたこと発表する。

⑨付箋紙の貼られたワークシートを見て，「事後の対応の在り方」「保護者への対応の在り方」についてグループ内で話し合う。

⑩保護者役，教師役を変えて（前回の観察者から，保護者役のグループは教師役に，教師役のグループは保護者役に）再度ロールプレイングを行う。

	教師側	保護者側
役割を演じて気づいたこと		教師役，保護者役を演じて気づいたことを付箋紙に記入して貼る。
観察をして気づいた点		観察して気づいたことを，教師側，保護者側に分けて付箋紙に記入して貼る。
対応の改善点		メンバー間の話し合いを通して改善すべき点を付箋紙に記入して貼る。

⑪保護者への対応について，グループで意見をまとめて発表する。